

たんぽぽ通信 No.119

発行日：2005年10月 日

発行者：たんぽぽ共同作業所

施設長 黒田道正

住 所：磐田市福田中島 138

TEL：0538-58-1541

E-mail：tanpopo-kyodo@ny.tokai.or.jp



カラオケ

(8月23日、林トセウ-さわや家にて)

作業の合間に「さわや家」までドライブして、カラオケ室をお借りしました。



アイドル犬
MEMOちゃんが大歓迎

身ぶり
手ぶり
熱唱!



歌を聞くことによって、いろいろなふれあいを感じ、いつもより疲れが取れた感じ (MINE)。



西部施設合同 ボーリング大会

(8月26日、磐田グランドボウルにて)

西部地区の施設が合同でボーリング大会を開催しました。



kiyoshiさん
堂々の
2位!

noriさん4位!
hideさん
A子さんも
位入賞!



中学生が体験活動

- ◎ 作業所がどんな場所なのか、何をやる所なのか少しですが、判ったと思います。



身体の障害や知的の障害については耳にしたり、目にしたりしますが、精神の障害については見たことがありませんでした。私はまだ精神の障害はよく判らないですが、色々な人達が参加して本当に楽しそうな顔をしているのがとても印象的でした。今度は友達を誘ってまた参加したいなあと思っています。

(8/17 南部中学 藤田)

- ◎ レクリエーションで、スポーツをやって、打ち解けあうことができました。私達と何も違うところがなく、ただ、人の行動や言葉などを感じやすく、心が繊細なんだなと思いました。(9/15 城山中学 小池)

- ◎ 初めに会ったときは緊張して、しゃべれなかったけれど、スポーツをして仲良くなりました。本当に普通の人と変わらない人達だなと思いました。だんだんみんなから話をしてくれてうれしかったです。(9/15 城山中学 菊田)

- ◎ 行ったばかりは、皆さんとどう接していいか悩みましたが、体育館で遊んでいるうちにだんだん慣れてきて、ドッチビーで思いっきり触れ合うことができました。作業も手際が良くて驚きました。一緒にしゃべったり、笑ったりしながら作業ができました。帰る時間になった時に、正直まだやりたいと思いました。僕らが普通に接すれば、向こうも普通に接してくれる、他の人と変わらない普通の人だなと思いました。

(9/15 城山中学 塩崎)

静岡医療科学専門学校の 学生が実習

- ◎ 皆さんの、作業に取り組む姿勢のまっすぐなところが見られました。



ここでの作業を通して、得られる経験が、今後違った形で表れればよいと思いました。利用者の皆さんといろいろな会話をしながら取り組めたことは、作業所に対していいイメージを持つことになりました。(9/16 藤原)

- ◎ 午後の紐の作業が終わって指を見ると、小さな水ぶくれが3つもできていました。



メンバーさんは毎日この作業を繰り返しているのかと思うと、大変なのに笑顔で頑張っているのはすばらしいなあと感じてしまいました。お昼休みのオセロ勝負、完敗でした。半分も終わっていないのに「あっ、負けかも…」と思わされてしまったあの腕はすごい！いつかまた勝負したいです。(9/20 川島)

- ◎ 作業所の人達はとても陽気で優しく接してくれました。



ただ、一日中作業の予定

が詰まっていた利用者の方とお話をする機会が少なかったため、その点だけは少し残念な気持ちが残りました。たった一日でしたが、たんぽぽのみなさんと一緒に過ごせてよかったです。(9/20 川合)